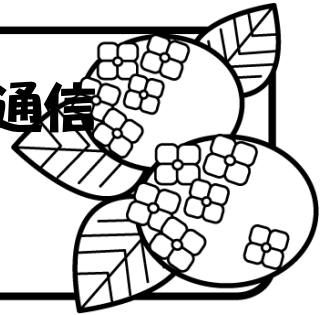




青木村子どもはつらつネットワーク通信

平成30年度 第153号 6月1日

青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行



青木村には、保育園が1園、小学校中学校が各1校あります。村ではこの保育園・小中学校が同一の方向性のもとに保育や教育が行えるよう、またそれぞれの間の連携が密にとれるよう「保小中一貫教育」を推し進めています。これは保小中の先生方が中心となり、小中のPTAの協力、教育委員・社会教育委員の参加も得て行われている活動です。今月号では、この「保小中一貫教育」の今年度の取り組みの概要についてお伝えします。



平成30年度 保小中一貫教育の取り組み

14年目を迎える保小中一貫教育の推進にあたり

保小中一貫教育委員会事務局 北垣内 博（青木小学校）

13年間、多くの実践を積み重ね、成果を上げることができた保小中一貫教育。一昨年度、この取り組みが「地域学校協働活動推進に係る文部科学大臣表彰」という形で全国的にも認められました。

また、例年に引き続き、昨年度も取り組みのまとめとして開催した『子育てフォーラム青木 2017』では、村内外より120名余りの皆さんにご参加いただくことができました。矢島宏美さん（NPO 法人 子ども・人権・エンパワメント CAP ながの代表、長野県教育委員）をお招きした講演会や分科会は、子どもの心に寄り添い、自尊感情を高めるために私たちができることは何かを考えるよい機会となりました。講演会に参加された保護者の方や地域の方からは、以下のような感想が寄せられています。

- ・気づかないだけで、まわりに話を聞いてほしいと思っている子どもたち（我が子も含めて）はたくさんいるのではないかと感じました。子どもがこの大人なら大丈夫、話したいと思える親、大人でいたい、なりたいたいと思いました。
- ・大人も自尊感情が高くないといけなるとわかっていましたが、矢島さんにはっきりと言葉で伝えられ、ハッとしました。大人として、子どもに寄り添うことの大切さを再認識しました。

・「100%子どもの側に立つ」という言葉がとても印象に残りました。私は、きちんと子育てをしたいという気持ちから叱ることが多かったと思います。そのままの子どもを受け止めてやれず、なかなか自尊感情を育ててあげられなかったと後悔しています。青木村の一員として、子どもに関わる時、心から子どもの声を聴いてあげられるようにしていきたいと思います。

このように私たちの取り組みが、子育てに携わる保護者や地域の皆様にも関心を持っていただくことにつながったことは、何よりの成果であり、嬉しいことです。今年度も「自尊感情の育成」をキーワードとし、「5か条委員会」「子育て委員会」「フォーラム委員会」「保小連携委員会」「小中連携委員会」「特別支援教育委員会」の6つの委員会を設置して活動を展開します。さらに、その成果と課題について『子育てフォーラム青木2018』で今年度も多くの方々と共有していく予定です。

14年目を迎えるこの活動は、過去の積み重ねに留まらず、節目となる15年目につながる活動にしていかななくてはならないと考えています。先日、活動の中心となって支えていただく皆様と行った全体会で、沓掛英明教育長からこれまでの経緯とともに活動に携わってくださった方々の思いをお話いただき、今後の方向と新たな一歩について確認することができました。

私たちは、これからも「ふるさと青木村を愛する子ども」を育てていきたいと考えています。それを具現化するために、青木村の教育目標「心豊かでたくましい子どもの育成～社会力（生きる力）を育てる～」にある「社会力（生きる力）」の

向上を目指し、他者とのかかわり、特に大人（地域・保護者）と直接交わる機会が必要となります。保護者、地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



【各委員会における今年度の主な活動内容】

1 5か条委員会

あおきっ子の「自尊感情」醸成につながる活動を推進します。この2年間、『あおきっ子教育ポイント5か条』の第2条「あいさつ」、第3条「時間の使い方」の具体的な取り組みについて提案していきましたが、今年度は第4条「働き学ぶ」に焦点をあて、取り組みます。この点について、保小中の各取組をフォーラムで報告させていただく予定です。今後さらに、より多くの皆様と『あおきっ子教育ポイント5か条』の取り組みを進めるため、広報活動も行っていきます。

2 子育て委員会

昨年度のテーマ「家族で大切にしていること」を基盤とし、その成果から今年度のテーマは、感謝の気持ちを「伝え合う」こととしました。話し合いやアンケートを実施し、その様子をフォーラムで報告させていただく予定です。保護者、地域の皆様の声を反映させながら、活動を充実させていきたいと考えています。また、「自尊感情を高める子育て」についての講演会の企画を進めていきます。

3 フォーラム委員会

今年度も「自尊感情を育てる」をキーワードとした「子育てフォーラム青木2018」を12月1日（土）に開催します。他の委員会の活動の様子、まとめの場となるフォーラムが一層、充実したものになるよう企画・運営・広報活動をしていきます。

4 保小連携委員会

小学校と保育園との交流を充実させながら、小学校が身近に感じられるような活動を推進していきます。その具体として、学校行事への保育園児参加、遊びを通じた交流活動、学習活動への参加等を考えています。

一人一人の特性を考慮し、保育園から小学校入学へ向け、よりスムーズに移行できるようにしていきます。

5 小中連携委員会

学習指導要領の改訂に伴い、小学校においても外国語活動が始まっています。今年度は、英語学習における小中連携のあり方に焦点をあてて活動します。ピーター先生（ALT）にご協力いただきながら、活動を充実させたいと考えています。

6 特別支援教育委員会

今年度も以下の3つの取り組みを中心に行います。

- 保小中における事例検討
- 福祉のサポート体制について
- フォーラムに向けて発表内容の検討





学生企画 中学生勉強会

青木中学校 1、2年生を対象とした信州大学 YOU 遊未来の学生による勉強会が3月26日（月）に開催されました。今回の企画は学習中心の企画で、たくさん勉強した後は昼食を作ったり、思い切り体を動かしたり、充実した一日を過ごしました。



編集後記

今年度の小学校・中学校の子育て委員会のテーマは、昨年度の「家族で大切にしていること」を基盤とし、感謝の気持ちを「伝え合う」ことです。参観日の懇談会の折にも率直な思いをお聞かせください。12月1日(土)の『子育てフォーラム2018』への+参加をお待ちしております。

